

後 志

口腔衛生キャンペーン

日 時：平成21年6月6日(土)午後2時より

場 所：後志支庁舎内道民ホール(倶知安会場)

参加者：227名(大人63名、12歳未満35名、6歳未満男子58名、6歳未満女子71名)

歯科健診・相談(135名) フッ素塗布(147名)
お口の健康度チェック(47名) 体験コーナー指
模型(69名) ブラッシング指導(21名)

親と子の歯のコンクールは11組の応募があり、
最優秀賞1組・優秀賞2組・奨励賞2組が選ばれた。

なお岩内文化センターでのキャンペーンの開催
は見送られたが、よい歯の親子コンクールには
9組の応募があり、最優秀賞1組と優秀賞2組
が選ばれた。最優秀賞の親子は全道大会に推薦
された。(中村直喜記)



美 唄

美唄市よい歯のコンクール

日 時：平成21年6月5日(金)午前9時30分より

場 所：美唄市保健センター

このコンクールは、3歳児健診で虫歯なしと診断
された子供達のなかから、一番よい歯の持ち主を決
めるものであり、小森会長と私と衛生士1人の3人
で審査を行った。少子高齢化の進む我がまちで、実
際にノミネートを通じたのは98人だったが、この
日の審査に来場されたのは38人と過去最低の出席
率であった。来場できなかった理由は風邪などの病
欠という子もなかにはいたかもしれないが、そのほ
とんどは不況で共働きの母親が仕事を休めない
という理由だったと思われる。この不況が愛する我
が子の輝かしい栄誉さえも奪ってしまったとしたら、
それは本当に残念なことである。

コンクールは人数が少なければ少ないなりに

審査は難しく、二次審査では小森会長の提案で上
顎のEの頬側を染め出してさらに厳しく診査を行い
最優秀賞1名、優秀賞3名を決定した。最優秀に
選ばれた子の母親から「実は上の子にたくさん虫歯



を作ってしまう、それを反省して下の子は必死で歯磨
きし今回見事に最優秀を射止めた」という話を聞いた。
子育てで親も成長し、頑
張った母親の努力が報われ
たのは本当に喜ばしいこと
である。

(吉村裕美子記)



空 知

むし歯予防デー

日 時：平成21年6月6日(土)午前10時より

場 所：滝川総合福祉センター

参加者は昨年とほぼ同人数の700名で、歯科医師
8名による検診・相談コーナーに450名が受診され
た。その他、健口度チェック・ブラッシング指導・
咬合力検査・サホライド塗布・フッ素洗口・おもちゃ
作り・地物野菜販売など歯科関係者のほかに保育
士・栄養士・保育園の保母・その他ボランティアで
の運営で行われた。(小西 亮記)

